

# 検討会ニュースレター

第1号

京北地域の土地利用の規制・誘導のあり方に関する検討会

平成17年9月

## 京北地域の土地利用の規制・誘導のあり方を考えるための第1回検討会が開催されました

京北町と京都市が合併して5箇月がたちました。皆さんも日常生活やお仕事の場面等で様々な形でこれまでとの違いを感じておられることと思います。

今後、こうした変化は時には小さく、時には大きく地域を変えていくことが考えられます。

とりわけ、土地の利用方法の変化は、地域の変化の大きな要素を占めることとなります。

そこで、このたび京都市では、京北地域がいつまでも魅力と活力のある地域であり続けるため、学識経験者、地元の住民や関係機関の皆さん、行政職員等による「京北地域の土地利用の規制・誘導のあり方に関する検討会」を設置致しました。

第1回目の会合は8月18日に右京ふれあい文化会館で開かれ、京都市の大島仁都市計画局長の挨拶に続き、京都大学の青山吉隆先生が

座長として選出され、事務局からの調査目的の説明に続いて、スケジュールの提案が承認されました。

その後、参加された19人の委員の皆さんから地域の現状についての報告や、土地利用の課題の指摘、検討会への期待などの意見交換がなされました。

検討会はこれから平成17年度と18年度の2箇年にわたって開催され、住民の皆さんのご意見や思いを大切にしたい、望ましいまちづくりを実現するための土地利用の規制や誘導のあり方を探っていきます。

また、今後アンケート調査や、パブリックコメントなどを通じて皆様のご意見を幅広くお聞かせいただく予定です。皆様から積極的なご意見やご要望をお寄せくださるようお願い致します。



第1回検討会の様子（右京ふれあい文化会館にて）



栗尾峠から周山を望む京北の景観

## 検討会では次のようなお話がされました

### 大島都市計画局長あいさつ

京北町の皆さんを京都市にお迎えしてはや4箇月がたちました。京北地域は豊かな緑や清流，常照皇寺など魅力にあふれています。そうした魅力が更に輝くよう，土地利用のあり方を一緒に考えて頂きたいと思えます。

私は宇治田原町の出身ですが，第二名神が計画され，工業団地ができるなど，町が大きく変貌しています。同じようなことが京北で起こるのがいいのか悪いのかも含め，メリハリをつけて，伸ばすところは伸ばし，守る場所は守るといった土地利用のあり方がこれから議論されると思います。今回の検討会で，50年，100年先を見通して，未来の子孫から，「あの時よく検討してくれた」といってもらえるような議論がなされることを期待しています。

### 委員意見から

中川，小野郷の人の話では「都市計画区域」に編入され，「市街化調整区域」に指定されると，次男の家も建たなくなるので大変だとのこと。京北らしい方法を考える必要がある。

農林漁業が重要な産業だ。規制は必要かもしれないが，産業の振興を妨げるものであってはいけない。両者の関係をどう考えるか。

合併前，政令指定都市に隣接する過疎地は全国でも京北町だけだった。メリハリのある開発が必要だ。住民の意見をしっかりと聞くことが大切だ。

商工業の活性化のため，交流人口の増加が期待される。

土地利用規制などの制度の現状を住民によく知らせることが大事だ。

地域の活性化は，住民自身のやる気がなければ成功しない。

この検討会は，合併後，もう一度，「京北はいかにあるべきか」を考えるよい機会だ。

京都市と京北のつながりは昔から深い。まちの暮らしと山の暮らしをどうつなぐか。また，誇りを持って山を守ることでできる仕組みが必要だ。

6つの地区の特性を生かす視点が必要だ。

まだ見てない人は，ぜひ京北のまちを見に来てほしい。

「京北の本当の魅力」を改めて見つめなおすことから始めよう。

「持続可能な開発」がキーワードか。将来の人が豊かに暮らせるために必要な何らかのルールが必要ではないか。そのためにも，住民に情報を提供し，その上で意向をくみ上げて，しっかりと検討していきたい。

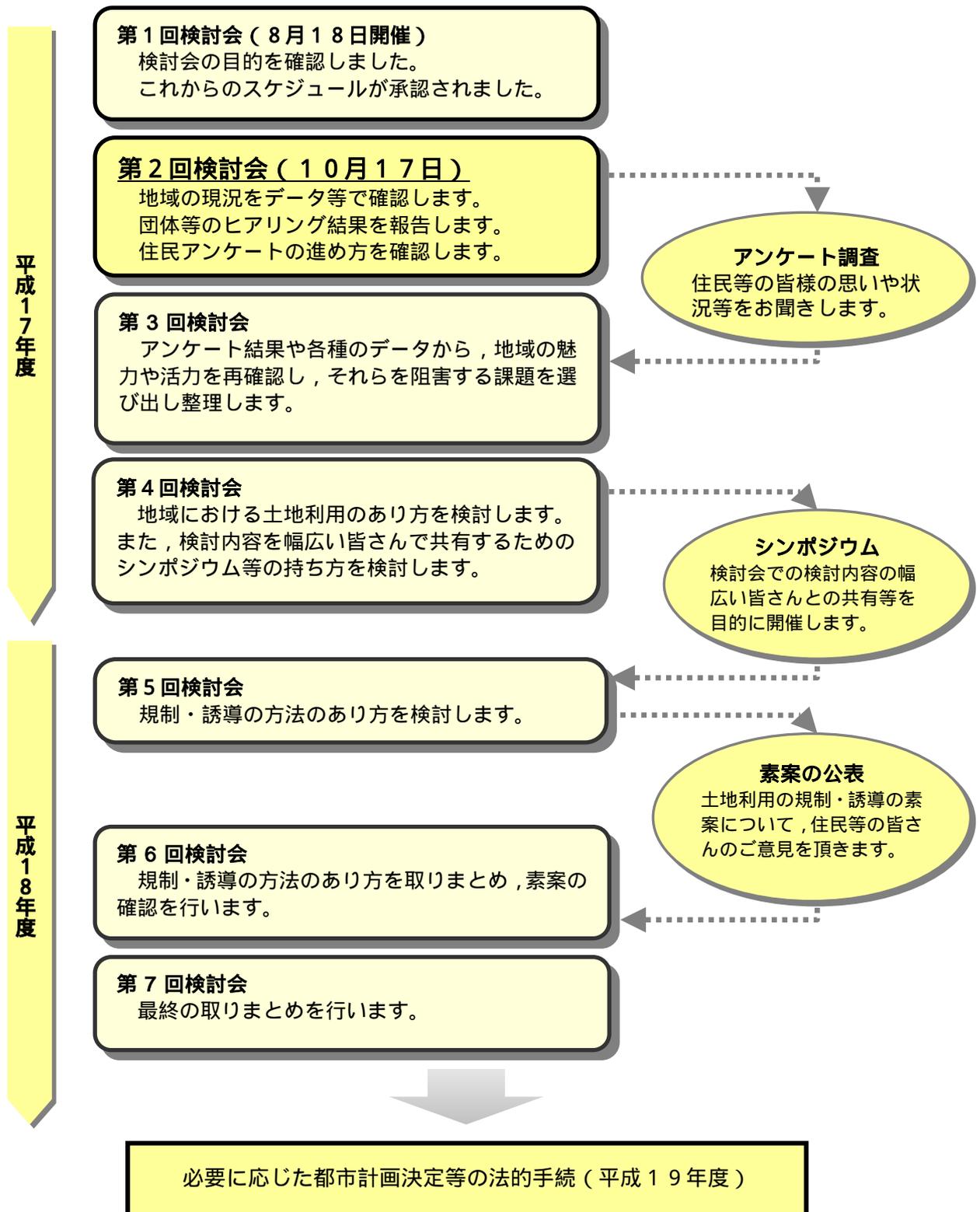
### 京北地域の土地利用の規制・誘導のあり方に関する検討会 委員名簿

座長	青山 吉隆	京都大学大学院工学研究科教授
	川本 邵	財団法人京都ゼミナルハウス理事長
	神吉 紀世子	京都大学大学院工学研究科助教授
	北川 義晴	京北森林組合代表理事組合長，京北自治振興会副会長
	木戸 俊康	京都市産業観光局農林振興室京北農林事務所長
	塩谷 孝雄	京都市建設局管理部建設総務課京北分室担当課長
	庄 康彦	財団法人きょうと京北ふるさと公社理事長
	田中 誠	京北自治振興会会長
	田辺 真人	京都市都市計画局都市企画部長
	寺井 正	京都市右京区役所区民部長
	中嶋 明	京北商工会会長
	畑中 政治	京都市都市計画局建築指導部長
	福島 貞道	京都市都市計画局都市景観部長
	藤野 真澄	NPO法人ふるさと京北絆杉塾塾長
	船越 郁正	京北自治振興会副会長
	宗田 好史	京都府立大学人間環境学部助教授
	森脇 俊哉	京都市産業観光局農林振興室農業計画課長
	安田 一民	京都市京北農業委員会会長
	山本 滋生	京都市右京区役所京北出張所長

(五十音順敬称略)

## 以下のスケジュールで検討を進めていくことが確認されました

今後、次のようなスケジュールで検討を進めていく予定です。検討会の内容は、その都度、ニュースでお伝えいたします。また、検討会は公開で行っておりますので、直接ご覧いただくこともできます。（第2回の案内は裏面にあります。）



## 素朴な疑問のコーナー

### 『土地利用の規制・誘導』って??

- 杉子, 鮎男 : 質問です。今度の検討会で話される「土地利用の規制・誘導」ってなんですか。
- 京都市 : 土地の上に, どんな建物が建てられるのかなど, 土地の利用方法のルールを決めようということなんです。
- 杉子 : 自分の土地に建物を建てるのに制限が加わるなんてやだなー。
- 京都市 : 今, 京北地域には, 高さ制限がないので, 隣に突然, 10階建てのビルが建つとか, 用途の制限がないので, 騒音や悪臭を出す工場がくることも考えられるんです。それに, 構造計算等で安全が確かめられていない家が建つことも考えられます。
- 鮎男 : それは, 困るよ。でも, そんなこと京北では, 起こらないよね。
- 京都市 : 今後, 道路ができて便利になったり, 京都市となったことから, 今まで考えられなかったようなことが起こることも考えられます。
- 杉子 : 京北らしさがなくなってしまうのは困るしな。そう言えば, この前, 市街化調整区域に住んでいる人から, 制限が厳しくって大変だって聞いたよ。
- 京都市 : 市街化調整区域は厳しい面もありますが, 環境が守られるといった優れた面もあります。今回の検討会で, そうした制度も含めた都市計画法の制限のほか, 建築基準法や景観法等についても幅広く検討することとなります。
- 鮎男 : なんだか難しそうだけど, 京北地域に合ったルールだといいいんだけど。
- 京都市 : そのとおりです。今回の検討会は, 京北地域がその魅力をなくさず, いつまでも輝き続けていくため, 京北地域に丁度良いルールを京北地域の幅広い住民の皆さんと一緒に考えていくこととなります。
- 杉子 : 厳しいところは厳しく, 自由なところは自由に, メリハリがきけばいいわね。
- 京都市 : 今後, 検討会では, 様々なデータを分析するほか, ヒアリングやアンケートも行い, 京北地域で今後, どんなことが起こるのかを検討していきます。
- 鮎男 : この先, 京北地域はどうなっていくんだろう? でも, 将来を予想してどうするの?
- 京都市 : 次に, 将来の京北地域のまちづくりのために必要なルールを検討していくこととなります。こうしたルールは, 京北地域の今を生きる皆さんだけでなく, 未来の子どもたちのためのものとなります。一緒に考えていただけるよう, 心よりお願い致します。
- 杉子, 鮎男 : こちらこそ, よろしくお願い致します。

## 第2回検討会のご案内

日時 10月17日(月) 午後3時から

場所 京北合同庁舎 2階大会議室

傍聴をご希望される方は, 下記の事務局までお問合せ下さい。

(会場の都合で人数制限があります。)

## 事務局より

私達が担当しています。どうぞよろしくお願いいたします。

京北地域の土地利用の規制・誘導のあり方に関する検討会

京都市都市計画局都市企画部都市計画課 地域係 松本(正), 中西

075-222-3505 fax 075-222-3475



京都市印刷物第 174237 号